

古城佳子教授 略歴と業績

学歴

- 1980 年 3 月 東京大学教養学部教養学科国際関係論分科卒業
- 1983 年 3 月 東京大学大学院社会学研究科国際関係論専攻修士課程修了
- 1984 年 9 月 プリンストン大学大学院 (政治学部) 留学 (フルブライト奨学生)
- 1986 年 5 月 プリンストン大学大学院 (政治学部) MA 取得
- 1993 年 5 月 プリンストン大学 Ph.D (政治学) 取得

職歴

- 1988 年 4 月～ 91 年 3 月 國學院大学法学部専任講師
- 1991 年 4 月～ 96 年 3 月 國學院大学法学部助教授
- 1996 年 4 月～ 99 年 5 月 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻助教授
- 1999 年 6 月～ 2020 年 3 月 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻教授
- 2020 年 4 月～ 25 年 3 月 青山学院大学国際政治経済学部教授
- 2020 年 6 月～現在 東京大学名誉教授
- 2020 年 9 月～ 22 年 3 月 東京大学大学院総合文化研究科客員教授

業績リスト 2020 年～ 2025 年 1 月

〈論文〉

- ・ 古城佳子 (2020) 「長期化する米中対立がサプライチェーンに落とす影」『外交』 vol.59、42-47。
- ・ 古城佳子 (2021) 「COVID-19 と『自由主義国際秩序—合意と懐疑』」『国際法外交雑誌』 第 130 巻、339-349。

- ・ 古城佳子 (2021) 「ポスト・トランプ状況と国際協調の行方」『世界』1月号、196-203。
- ・ 古城佳子 (2022) 「バイデン政権の国際協調の課題：国際経済分野の多国間主義」『世界経済評論』1、2月号、50-55。
- ・ 古城佳子 (2022) 「不安定化する世界経済と日韓協力の可能性」East Asian Institute (Seoul) (<https://www.eai.or.kr/new/ko/pub/view.asp?intSeq=21817>) (韓国語に翻訳)
- ・ 古城佳子 (2023) 「今日の『経済安全保障』—経済的相互依存論の含意」『平和と安全保障』第9号、79-87。
- ・ Kojo, Yoshiko (2024) “G20 Summit Places Priority on Avoiding Division” *Asia-Pacific Review*, 11-16.
- ・ 古城佳子 (2024) 「紹介 森聡編『国際秩序が揺らぐとき』」『国際法外交雑誌』第123巻、238-42。

〈その他〉

- ・ 古城佳子 (2020) 「駒場回顧」『国際社会科学』第69号、1-7。
- ・ インタビュー (2020) 「古城佳子先生インタビュー」(インタビュワー 石田淳・遠藤貢・湯川拓)『国際社会科学』第69号、9-30。
- ・ 発表 (2020) 「多国間主義の再検討—戦後国際経済組織と日本」駒場国際政治ワークショップ。
- ・ 古城佳子 (2020) 「経済教室 コロナ危機と世界秩序(下) 国際機関、「共通の利益」明確に」『日本経済新聞』7月21日朝刊。
- ・ パネリスト (2020) 言論フォーラム「G7は復権したのか」7月27日。
- ・ パネリスト (2021) 言論フォーラム「バイデン政権で国際強調と民主主義の修復はあるのか」1月15日。
- ・ パネリスト (2021) 言論フォーラム「コロナ危機の世界史的な意味と世界の今後をどう見るか」7月2日。
- ・ パネリスト (2021) 日韓未来対話「なぜ今、韓国との対話が必要なのか」10

月 2 日。

- ・ 発表 (2021) 共通論題「コロナと国際経済秩序」日本国際政治学会 2021 年度研究大会、10 月 30 日。
- ・ 発表 (2022) ”Cooperation and Conflict in Finance: Problem of Exchange Rate in US-Japan Relations after the Nixon Shock” SAIS Conference on the Evolution of US-Japan Cooperation since the Nixon Shocks, Johns Hopkins University、1 月 13 日。
- ・ 発表 (2022) 「COVID-19 ワクチンをめぐる公衆衛生と知的財産権保護の相克」日本学術会議主催学術フォーラム「コロナ禍を共に生きる #5 感染症をめぐる国際政治のジレンマ—科学的なアジェンダと政治的なアジェンダの交錯」2 月 6 日。
- ・ 古城佳子 (2022) 「経済教室 瀬戸際の多国間枠組み (中) 『共通の利益』の価値再認識を」『日本経済新聞』6 月 8 日朝刊。
- ・ 討論者 (2022) 日本学術会議主催公開シンポジウム『アジアから見たウクライナ戦争—世界の視線の多様性と日本の選択』9 月 18 日。
- ・ 司会 (2022) 分科会「GAFA をめぐる国際政治経済学」日本国際政治学会 2022 年度研究大会、10 月 28 日。
- ・ 発表 (2022) 「コロナ、ウクライナ危機とグローバル化の行方」日本アカデミア研究会、12 月 23 日。
- ・ 討論者 (2023) 国際シンポジウム “Non-Western Nations and the Liberal International Order” 埼玉大学、9 月 23 日。
- ・ 討論者 (2023) 分科会「『危機』における協力と対立の国際政治経済」日本国際政治学会 2023 年度研究大会、11 月 11 日。
- ・ 発表 (2024) “IPR Regime Formation in the East Asia: Soft or Hard Regime?” ISA 2024 Conference (San Francisco) 4 月 3 日。
- ・ 司会 (2024) 共通論題「国際政治学と政策形成—EBPM の可能性と限界」日本国際政治学会 2024 年度研究大会、11 月 16 日。
- ・ パネリスト (2024) 「第 20 回東京—北京フォーラム」分科会「多国間主義に

伴う世界秩序と平和の修復」言論 NPO、12月4日。

- ・監修・出演 (2025) NHK E テレ 高校講座『世界史探究』第35回「ヨーロッパの現代史とEU」、第38回「経済のグローバル化」。